

いばらき

茨城の小ギク新品種

「常陸サマーライト」



育成のねらい

本県のコギクは、栽培面積で全国第2位、生産額で全国第4位を占める重要な花き品目となっています。

出荷の中心は7月東京盆、8月旧盆、9月彼岸の物日で、この作型にあった県オリジナル品種の育成を進めています。

本品種は8月出荷用の黄色品種として育成しました。

育成経過

H21年度に自然交雑によって得られた種子の実生個体から、H26年度に有望系統として選抜しました。

H27年度、28年度に実施した市場性調査と現地適応性試験の結果から優良と認められたため、品種登録申請し、H31年3月に登録されました。

特徴

- 1 花色は黄色です。
- 2 開花時期は7月下旬から8月上旬であり、8月旧盆の出荷に適します。
- 3 葉色が濃くて艶があり、白さび病の発生が少ないのが特長です。

農業総合センター生物工学研究所・園芸研究所